

## サウジアラビア電力公社（SEC）配電分野訪日研修

2024/2/21

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは、日本・サウジアラビア両国間の電力分野における関係強化と日本企業のビジネス機会創出に取り組むため、これまでサウジアラビア電力公社（SEC）との協業を積み重ねてまいりました。この度、SEC 配電部門から技術者 8 名を日本に招き、2024 年 1 月 22 日から 26 日までの期間中、「配電分野訪日研修」を実施しました。

### 研修の概要

今回の研修は、関西電力送配電(株)のご協力を得て実現しました。SEC からは事前に給電制御所の運用や運転員の育成・認定制度について強い関心が示されたため、座学講義のほか、配電営業所や給電制御所、研修センターなどの関連施設の視察が行われました。その結果、SEC 参加者と日本側参加者との技術交流が盛んに行われ、日本の電力システムにおける運用手法や人材育成制度の関する知見がサウジアラビアでの普段の業務に活かせる等の感想が聞かれました。

さらに研修期間中には、日本メーカー数社を招いてのワークショップが開催され、日本の質の高いインフラ輸出拡大に寄与する機会となりました。



関連施設視察



クロージング後の集合写真

### 研修の成果

研修のクロージングでは、SEC 配電サービス部門 Executive Director モハメド・アル・アスィーリ氏は、「5 日間濃密な体験をさせていただいた。このプログラムを企画・運営してくれたすべての人に感謝したい。研修で知り得た知識・アイデアを帰国後の設備保守に活かしていきたい。また、この機会を両国間のさらなる関係強化に繋げていきたい」と述べ、研修の成果と今後の展望につき言及しました。



### **サウジアラビア電力セクターの将来**

サウジアラビアは国造りの指針である「ビジョン 2030」において、2030 年までに電力セクターのエネルギーミックスの 50%を再生可能エネルギーで供給する目標を掲げています。この目標を達成するためにはさらなる再生可能エネルギー電源の開発だけでなく、需給調整のノウハウを含めた電力系統運用や、保守体制の整備された送配電網への連系が不可欠であり、そのなかで SEC が果たす役割はますます大きくなっていくものと考えられます。

当センターは引き続き、SEC をはじめとしたサウジアラビアの関係機関と協力し、電力分野における両国間の関係強化、重層的な関係構築に貢献するとともに、同分野での投資に繋がる日本企業の活動を支援してまいります。

以 上